

2020年度通常総会について

2020年度通常総会は2020年4月27日にWeb会議（新型コロナウイルス感染防止のため）により開催され、以下の議案がすべて原案通り承認されましたので、お知らせします。

第1号議案：「2019年度事業報告」の件

第2号議案：「2019年度決算報告および監査報告」の件

第3号議案：「2020-2021年度新役員承認」の件

報告1：2020年度事業計画

報告2：2020年度収支予算

(第1号議案)

2019年度事業報告

事業番号：公1（1本のみ）

事業の内容：オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

(1) 春季研究発表会

3月14日、15日、千葉工業大学（津田沼）にて開催

実行委員長：井上明也（千葉工業大学）

発表件数126件 参加382人

・特別テーマ「ORによる価値創造（持続的成長への貢献）」

・特別講演（一般公開）

1) 「新たな価値の提供と「つなぐ使命」の完遂」

黒田吉広（西日本電信電話株式会社 代表取締役社長）

2) 「デジタル社会とOR」

齊藤 裕（日本オペレーションズ・リサーチ学会 会長、ファナック株式会社 副社長）

3) 「ORをめぐる冒険：ビジネスと研究の両面からの報告」：近藤賞受賞記念講演

山下 浩（株式会社NTTデータ数理システム顧問）

(2) 秋季研究発表会

9月12日、13日、東広島芸術文化ホールくららにて開催

実行委員長：土肥 正（広島大学）

発表件数135件 参加372人

・特別テーマ「地方創生とOR」

・特別講演（一般公開）

1) 「複雑制約付き凸最適化とその応用—不動点理論で端緒を開く—」：研究賞受賞記念講演

飯塚秀明（明治大学）

2) 「大規模並列ソルバによる混合整数計画問題，組合せ最適問題に対する最適解の求解」：研究賞受賞記念講演

品野勇治（Zuse Institute Berlin 研究員）

- 3) 「新たな知の創生拠点を目指して—広島大学の挑戦—」
渡邊 聡 (広島大学 総合戦略担当副学長)
- 4) 「政策決定における数理的思考の可能性」
澤 尚幸 (一般社団法人 コミュニティ フューチャーデザイン 代表)

2. シンポジウム

- (1) 春季シンポジウム
3月13日, 千葉工業大学 (津田沼) にて開催
実行委員長: 井上明也 (千葉工業大学)
テーマ「危機管理とOR」講演3件 参加者90人
- (2) 秋季シンポジウム
9月11日, 東広島芸術文化ホールくららにて開催
実行委員長: 谷崎隆士 (近畿大学)
テーマ「ORの原点: 理論と産業応用」講演5件 参加者122人

3. ORセミナー

- (1) 第1回「Python言語によるビジネスアナリティクス」
 - ・5月18日, 株式会社構造計画研究所 本所新館にて開催
 - ・コーディネーター: 斎藤 努 (株式会社ビープラウド)
 - ・司会: 久保幹雄 (東京海洋大学)
 - ・講師: 斎藤 努 (株式会社ビープラウド), 並木 誠 (東邦大学), 久保幹雄 (東京海洋大学), 小林和博 (東京理科大学)
 - ・参加者60名
- (2) 第2回「データ分析最新事情~主な応用先をマーケティングとして~」
 - ・11月16日, 株式会社NTTデータ数理システム セミナールームにて開催
 - ・コーディネーター: 松本和宏 (株式会社富士通研究所)
 - ・司会: 松本和宏 (株式会社富士通研究所)
 - ・講師: 後藤正幸 (早稲田大学), 中原孝信 (専修大学), 里村卓也 (慶應義塾大学), 岩永二郎 (Retty株式会社)
 - ・参加者26名
- (3) 第3回「量子コンピュータ: 次世代アーキテクチャの活用」
 - ・2020年1月29日, 株式会社NTTデータ 豊洲センタービルにて開催
 - ・コーディネーター: 大輪拓也 (九州大学), 松本和宏 (株式会社富士通研究所)
 - ・司会: 矢実貴志 (株式会社NTTデータ)
 - ・講師: 門脇正史 (株式会社デンソー), 棚橋耕太郎 (株式会社リクルートコミュニケーションズ), イーグル亜紗 (MDR株式会社), 梅谷俊治 (大阪大学)
 - ・参加者58名

4. 企業事例交流会

- (1) 春季企業事例交流会 (第43回) を春季研究発表会にて開催
- (2) 秋季企業事例交流会 (第44回) を秋季研究発表会にて開催

【機関誌, 論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は, 機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて, オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し, オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて, 文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2019年3月1日	64	3	2,400部
2019年4月1日	64	4	2,400部
2019年5月1日	64	5	2,400部
2019年6月1日	64	6	2,300部
2019年7月1日	64	7	2,300部
2019年8月1日	64	8	2,300部
2019年9月1日	64	9	2,300部
2019年10月1日	64	10	2,300部
2019年11月1日	64	11	2,300部
2019年12月1日	64	12	2,300部
2020年1月1日	65	1	2,300部
2020年2月1日	65	2	2,300部

2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ），和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月	巻	号	発行部数
2019年4月	62	2	75部
2019年7月	62	3	75部
2019年10月	62	4	65部
2019年12月（TORSJ）	62		40部
2020年1月	63	1	65部

なお、論文誌はインターネット上で無料公開しており、発行部数は紙媒体での部数のみを示している。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

A	常設部会	主査、幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内 容	場 所
1	待ち行列	笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学) フンドック トゥアン (筑波大学)	28名	8回 (1回)	計8回の部会を開催し、発表内容は、待ち行列、情報通信ネットワーク、生産システムなど多岐に渡っている。このうち1回は確率系研究部会・研究グループ（「信頼性とその応用」、「動的決定モデルとその応用」、「待ち行列」、「量子コンピュータと次世代計算機活用」）の合同で実施された。また、2020年1月22-24日に「2019年度待ち行列シンポジウム」を開催した。	東京工業大学 大岡山キャンパス

2	数理計画 (RAMP)	土谷 隆 (政策研究大学院 大学) 北原知就 (九州大学)	33名	1回	11月21, 22日に慶應義塾大学矢上キャンパスにおいてシンポジウムを開催した。テーマは「連続最適化の展開と深化」, 「離散構造とアルゴリズム」, 「制御工学と最適化」, 「都市・地域解析と数理モデリング」である。この他に, 2件の特別講演を設け, 海外からの講演者を招いた。このように, 国内外の様々な分野の第一線でご活躍の先生方にご講演いただいた。	慶應義塾大学
3	評価のOR	後藤美香 (東京工業大学) 伊豆永洋一 (神奈川大学)	10名	5回	データ包絡分析法 (DEA), 階層分析法 (AHP), ゲーム理論, データ解析など広く評価に関わるOR的手法をテーマとし, その理論と応用に関する議論を行った。 定例研究会では毎回2名の講演者を招き, DEAやその他評価に関連した分析手法や応用について講演を行った。学生発表会を企画し11件の発表に学生奨励賞を授与した。延参加者62名	東京
4	意思決定法	水野隆文 (名城大学) 飯田洋市 (公立諏訪東京理 科大学)	0名	0回		
5	サプライ チェーン戦略	竹田 賢 (青山学院大学) 草刈君子 (ソフトウェアエ ンジニアリング株 式会社)	延べ参加者 219名 平均 37名	6回	サプライチェーンにおける経営戦略, 運用戦略, 戦略プロセスに対しOR手法の現実適用について事例と理論の両面から研究する。参加者219名 (平均37名) である。活動内容はscsr.jpにて一般公開している。	青山学院大学
B	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内 容	場 所
1	エネルギー ミックスの諸 問題とOR	中川慶一郎 ((株)NTTデータ) 宇田川佑介 ((株)構造計画研 究所)	15名	6回	エネルギー, 電力システムを対象にORを活用している研究者, 企業に研究成果, 導入事例などを報告いただいた。また電気工学に関する研究発表をいただくなどORと別の最先端技術の知見を融合することも目指し活動している。	(株)構造計画 研究所

2	データサイエンスとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) 朝日弓未 (東海大学) 横山 暁 (帝京大学)	12名	5回	タクシーのプロープデータを提供した「データ解析コンペティション」を開催した。20チームのエントリー、延べ約190人の参加者を得た。タクシーの位置情報の解析、乗車・降車などの情報に基づく需要予測などの発表と得られた知見、分析アプローチについて議論した。また、大規模なデータを対象にした、ORによるデータハンドリングの勉強会を開催した。	慶應義塾大学 矢上キャンパス、青山学院大学青山キャンパス、東海大学高輪キャンパス
3	最適化とその応用	高松瑞代 (中央大学) 田中未来 (統計数理研究所)	10名	6回	定例研究会を4回開催し、8件の講演に延べ117名が参加した。また、未来を担う若手研究者の集いを開催し、一般講演29件、特別講演1件、参加者142名を集め、一般講演のうち10件を表彰した。なお、当初はもう1回の定例研究会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて中止した。	中央大学、筑波大学
4	食とその周辺	大角盛広 (神戸学院大学) 宇野剛史 (徳島大学)	11名	5回 (2回)	農業問題へのORへの適用を考えた農業系の研究部会を引き継ぎ、より広く、食のサプライチェーン、学校給食センターなど食に関する施設配置、アグリビジネス、ヘルスケア、外食産業なども対象としてトータルに食の問題を考える。	広島工業大学
5	不確実状況下における意思決定とその周辺	小出 武 (甲南大学) 井上真二 (関西大学)	15名	5回 (1回)	不確実・不確定な現代社会を対象としたマーケティング、金融工学、最適化、データ工学、機械学習、人工知能などの関連研究分野に関する研究講演を中心とした情報交換を行った。延べ参加者91名。	JEC日本研修センター十三、サムティフェイム新大阪
6	危機管理と社会とOR	諸星穂積 (政策研究大学院大学) 鶴飼孝盛 (防衛大学校) 佐久間 大 (防衛大学校)	9名	8回	危機管理と社会システムを文理融合的に議論する場を設け、ORの理論と応用研究に関する話題を、毎回様々な分野から2名の講師を招いて講演いただき、学際的な見地からの研究交流を行った。	政策研究大学院大学
7	ヘルスケアのOR	高木英明 (筑波大学) 小笠原 悠 (首都大学東京) 阪口昌彦 (神奈川県立がんセンター)	72名	4回 新型コロナウイルス対応にて開催中止1回	OR研究者とヘルスケア・サービスの現場にいる研究者が交流を重ね、病院経営と医療・ヘルスケアの実測データに基づく理論、アルゴリズム、数理モデル化等の研究を推進し、我が国の課題に応えるORの新たな応用分野を開拓する。	首都大学東京、弘前大学、東京工業大学、南山大学

B	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内 容	場 所
8	インフラの OR的展望	高嶋隆太 (東京理科大学) 鳥海重喜 (中央大学)	24名	13回	本研究部会では、インフラストラクチャーの理論的展開を目指しつつ、①世界各地の持続可能な発展を支えるインフラの要件、②OR技法を用いた未来のインフラ計画、③インフラの危機管理問題、等について研究した。	日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団会議室
9	超スマート社会のシステム デザインのための理論と応用	牧野和久 (京都大学) 山口勇太郎 (大阪大学) 森本 陽 (三菱重工業(株))	17名	8回 (2回)	超スマート社会実現のために必要なオペレーションズ・リサーチ関連分野の理論と応用を発展させる研究会を開催した。うち1回は4日間の夏学校、1回は2日間の国際ワークショップを共催し、延べ参加者は約280名。	京都大学数理解析研究所 (RIMS)
10	動的決定モデルとその応用	來島愛子 (上智大学) 吉良知文 (群馬大学)	13名	5回 (1回)	今年度は合同開催も含め5回の研究会を開催した。最適停止問題やマルコフ決定モデル、リスクモデル解析や債権の価格付け、さらにはデータ倫理などのトピックについて研究会を開催し、交流も一層深まった。	上智大学
11	信頼性とその 応用	岡村寛之 (広島大学) 鄭 俊俊 (立命館大学)	26名	5回 (1回)	信頼性及び保全性に関する理論の発展と応用分野の拡大を目指し、合同開催を含む5回の研究会を開催した。メンバーの協力で情報関係など様々な分野の研究者と交流することができ、信頼性の応用を広げることができた。	愛知工業大学、 立命館大学、 神奈川大学、 国立情報学研究所
C	研究グループ	主査, 幹事	メンバー	開催	内 容	場 所
1	地域課題解決 のOR	鈴木 勉 (筑波大学) 石井儀光 (国土技術政策総合研究所)	50名	3回	OR手法を通して都市や地域の現象に関する諸問題に取り組んでいる研究者や学生を対象とする発表や議論の場として、セミナー・ワークショップを3回開催した。延べ発表数80件、延べ参加者数174名であった。	筑波大学、南山大学、慶應義塾大学
2	数理的発想と その実践	杉原一臣 (福井工業大学環境情報学部) 春名 亮 (富山短期大学)	0名	0回	諸般の事情により、研究集会は開催されなかった。	
3	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪拓也 (九州工業大学) 矢実貴志 (株式会社NTTデータ)	8名	5回 (1回)	量子コンピュータやイジングマシンなどを含む次世代計算機を用いて、最適化をはじめとした問題や実社会における具体的な課題に対する活用方法を検討するために、計5回の研究集会を開催した。延べ参加者197名。	NTTデータ (豊洲)

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 春季表彰

- (1) 近藤賞
 - ・山下 浩（株式会社NTTデータ数理システム）
- (2) 第20回業績賞
 - ・池上敦子（成蹊大学）
- (3) 第44回普及賞
 - ・岳 五一（甲南大学）
 - ・鈴木敦夫（南山大学）
- (4) 第43回実施賞
 - ・公益社団法人鉄道総合技術研究所

2. 秋季表彰

- (1) 第9回研究賞
 - ・飯塚秀明（明治大学）
 - ・品野勇治（Zuse Institute Berlin）
- (2) 第9回研究賞奨励賞
 - ・佐藤寛之（京都大学）
 - ・白髪丈晴（中央大学）
 - ・Bruno Figueira Lourenço（東京大学）
- (3) 第9回論文賞
 - ・胡 艶楠（名古屋大学）、深津 翔（名古屋大学）、橋本英樹（東京海洋大学）、今堀慎治（中央大学）、柳浦陸憲（名古屋大学）
- (4) 第39回事例研究賞
 - ・井出陽子（三菱重工業株式会社）、太田裕樹（三菱重工業株式会社）、茂中俊明（三菱重工業株式会社）、石井伸也（三菱重工業株式会社）、牧野和久（京都大学）
- (5) 第36回学生論文賞
 - ・尾形一穂（修論 東京大学）
 - ・神谷俊介（修論 東京農工大学）
 - ・徐 安洋（修論 東京工業大学）
 - ・三田佳那子（修論 京都大学）
 - ・山内達貴（修論 中央大学）
 - ・田中雅人（卒論 東京工業大学）

【海外研究助成事業】

□事業の趣旨・内容

本事業は、若手オペレーションズ・リサーチ研究者に対する海外研究助成により、海外の研究機関とのオペレーションズ・リサーチの研究および応用に関する連携を一段と進化及び拡大させ、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

2019年度は、次の2名を選考し助成した。

- (1) 相馬 輔 (東京大学)
 派遣期間：8月25日～9月20日
 派遣先：カナダ プリティッシュコロンビア大学 (UBC) Nicholas J. A. Harvey氏
- (2) 奥野貴之 (理化学研究所)
 派遣期間：9月10日～10月10日
 派遣先：香港理工大学 陳小君 (Chen Xiaojun) 教授

【支部活動】

1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2019/4/12	北海道大学	2018年度事業報告，決算， 2019年度事業計画，予算，役員
講演会1	2019/9/24	小樽商科大学 札幌サテライト	コンテンツビジネスのアジア進出 越知雄一 (ピクスタ株式会社 台湾支店長) 参加者：34名
講演会2	2019/10/18	アスティ 45 ACU-A RoomA	イスラエルはなぜスタートアップネイションと呼ばれるのか 中島直美 (Insight Lab イスラエル 支店長) 参加者：51名
講演会3	2020/2/21	小樽商科大学 札幌サテライト	空間点過程を用いたセルラネットワークのモデル化と解析 三好直人 (東京工業大学) 参加者：9名

2. 東北支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2019/4/2	東北大学	2018年度事業報告，2018年度決算， 2019年度事業計画など
講演会	2019/4/2	東北大学	生体・人体の数理 増田 正 (福島大学)
セミナー	2019/11/30 ～12/1	飯坂温泉湯野 市民センター	東北ORセミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための 研究発表会。1泊2日の合宿形式で、主として学生に研究発表と人的交流の 場を提供し、個々の大学や研究室を超えた地域全体での若手研究者育成、 および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性 化を目的としている。今年度は、2019年11月30日(土)、12月1日(日) に郡山市民交流プラザ(福島県飯郡山)で開催した。25名(うち学生20 名)の参加者を集めて、盛況のうちに無事終了することができた。詳細は 下記サイト参照。 http://www.akita-pu.ac.jp/system/mse/mis/inakawa/public/tors/seminar2019/index.html
会議	2020/2/29	東北大学	東北支部運営委員会

3. 中部支部

活動	年月日	場所	内 容
発表会	2019/3/2	ウインクあいち 15階愛知県立大 学サテライトキャ ンパス	12件の研究発表。参加者は約50名。 優秀な発表には表彰（院生以下対象）
特別講演	2019/3/2		錐最適化と2乗スラック変数 福島雅夫（南山大学）
ミニ・シンポジ ウム	2019/8/30	愛知県蒲郡市公 立学校共済組合 蒲郡保養所蒲郡 荘	【若手研究者のためのチュートリアルシンポジウム】 航空ネットワーク設計モデルの研究について 佐々木美裕（南山大学） 安定マッチング問題に対するアルゴリズム研究 宮崎修一（京都大学） ソーシャルなロボットにむけた関係論的なアプローチ 岡田美智男（豊橋技科大学）
講演会	2019/12/14	名古屋市立大学 ミッドタウン名 駅サテライト	成熟社会を背景とした交通管理手法の検討 ～ Society5.0時代の交通管制システム実現に向けて～ 岩岡浩一郎（パナソニックSSジャパン株式会社） 計算折り紙入門：多角形から折れる多面体の話 上原隆平（北陸先端科学技術大学院大学）
SSOR	2019/8/29 ～8/30	愛知県蒲郡市公 立学校共済組合 蒲郡保養所蒲郡 荘	参加者：26名（宿泊者数：22名，発表件数14件，チュートリアル講 演2件）

4. 関西支部

活動	年月日	場所	内 容
記念講演会	2019/4/6	中央電気倶楽部	CREST研究課題「ビッグデータ時代に向けた革新的アルゴリズム基 盤」と兵庫県立大学社会情報科学部の紹介 加藤直樹（兵庫県立大学） 参加者24名
支部総会	2019/4/6	中央電気倶楽部	2018年度事業報告・決算および2019年度事業計画・予算などが承認 された。 出席者：24名，委任状：43名。
支部SSOR (※未開催)	2019/10/12 ～10/13	関西大学飛鳥文化 研究所	実行委員長：井上文彰（大阪大学） 参加申込者：36名 ※当該期間に超大型の台風19号の来襲が予想され，交通機関が大幅 に乱れるであろうこと，また会場が山間部にあり土砂災害等が生じ る危険を踏まえ，10月9日に開催中止を決定した。

支部シンポジウム	2019/11/16	中央電気倶楽部	<p>テーマ：「ゲーム理論から学ぶ：人類への知見」</p> <p>実行委員長：三道弘明（関西学院大学）</p> <p>参加者：23名</p> <p>純粋戦略で可解な対称ゲーム—純粋戦略均衡の存在と交換可能性</p> <p>渡邊隆裕（首都大学東京）</p> <p>「インベーターのジレンマ」のゲーム理論的解明</p> <p>安田洋祐（大阪大学）</p> <p>金融市場における一般化された市場価格インパクト・モデルのもとでの取引執行ゲーム</p> <p>大西匡光（大阪大学）</p> <p>搜索資源配分ゲームに関する研究の変遷</p> <p>宝崎隆祐（防衛大学校）</p>
支部運営委員会	2019/4/6	中央電気倶楽部 (3回とも)	出席者：17名，委任状提出：17名
	2019/11/16		出席者：14名，委任状提出：25名
	2020/2/21		出席者：20名，委任状提出：18名

5. 中国・四国支部

活動	年月日	場所	内 容
支部総会	2019/3/30	県立広島大学	平成30年度支部活動・決算の報告， 平成31年度支部役員・活動計画・予算の承認
SSOR	2019/11/23 ～11/24	ホテルマリン パレスさぬき	中国・四国支部では，若手研究者の育成のために様々な取り組みを行っている中，その活動の一環として，若手の研究発表を中心とした研究発表会を開催した。宿泊形式とすることで，多くの意見交換が為されるとともに，親睦を深めることができた。（参加者：24名）
支部研究部会	2019/5/24	岡山コンベン ションセンター	<p>部会名「プロジェクトマネジメントと確率モデル」</p> <p>主催講演会：2件（8/21・12/4開催分）（講師2名）</p> <p>協賛セミナー：2件（5/24・9/20開催分）</p> <p>協賛シンポジウム：1件（11/29-30開催分）</p>
	2019/8/21	鳥取大学	
	2019/9/20	県立広島大学	
	2019/11/29 ～11/30	Marianne Haeundae Hotel	
	2019/12/4	鳥取大学	
支部研究部会	2019/5/18	広島工業大学	部会名「SCM&サービス工学」共催講演会：2件（講師3名）
	2019/12/14	広島工業大学	
支部研究部会	2019/11/26	徳島大学	<p>部会名「ORと数学」</p> <p>主催講演会：2件（講師4名）</p>
	2020/2/12	徳島大学	
講演会	2019/3/30	県立広島大学	講師：中山慎一（徳島大学）
	2019/12/7	広島工業大学	講師：岡村寛之（広島大学）
	2019/12/17	広島大学	講師：Shaoying Liu（Hosei University）

6. 九州支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2019/03/16	福岡工業大学	2018年度活動報告，2019年度活動計画 参加者人数：9名

講演会	2019/03/16	福岡工業大学	マトロイド制約を持つ施設配置問題 神山直之（九州大学） 参加者人数：9名
講演会	2019/07/06	福岡工業大学	警邏問題 河村彰星（九州大学） 参加者人数：12名
研究会	2019/07/06	福岡工業大学	多品目多段工程動的ロットサイズスケジューリング問題の並列処理による加速化 小林 稔（福岡工業大学） 参加者人数：12名
支部事業 SSOR	2019/10/26 ～10/27	福岡工業大学 FITセミナーハ ウス	1泊2日合宿形式の九州地区における若手研究者中心の交流会 発表件数：17件 参加者人数：26名
講演会	2019/10/26	福岡工業大学 FITセミナーハ ウス	指数型分布族における母数推定：von Mises分布の場合 作村建紀（法政大学） 参加者人数：26名
講演会	2019/12/14	福岡大学	A balanced contributions approach to a partially privatized firm in a mixed duopoly 近郷 匠（福岡大学経済学部） 参加者人数：9名
研究会	2019/12/14	福岡大学	地域間格差を考慮した中国における石炭火力発電所の効率性分析 —メタフロンティアDEAモデルの応用— 江口昌伍（福岡大学経済学部） 参加者人数：9名

【会議】

1. 通常総会

2019年4月25日（株）日立製作所（秋葉原）

- | | |
|--------------------------|----|
| 1. 2018年度事業報告の件 | 承認 |
| 2. 2018年度収支計算報告および監査報告の件 | 〃 |
| 3. 2019年度-2020年度役員承認の件 | 〃 |

2. 理事会 (略)

【役員】

理事 (非常勤)

定数: 12人から18人 (現在: 18人)

任期: 2年

監事 (非常勤)

定数: 2人 (現在: 2人)

任期: 2年

【職員】 (略)

【会員状況】

1. 2019年度通算 (2019/03/01~2020/2/29)

	名誉会員	正会員		学生会員		賛助会員		合計
		一般	シニア・特別	有料	無料	A種	B種	
2019.3.1	13	1494	67	9	246	36 (46)	19 (19)	1884
入会		32	1	2	103	2 (2)	1 (1)	141
退会		▲88	▲3	▲5	▲82	▲1 (1)	▲1 (1)	▲180
資格喪失		▲33						▲33
移動	学→正	32			▲32			0
	正→学	▲3		1	2			0
	正→シ	▲7	7					0
	シ→正	1	▲1					0
	正→名							0
今期間増減	0	▲66	4	▲2	▲9	1 (1)	0 (0)	▲72
2020.2.29現在	13	1428	71	7	237	37 (47)	19 (19)	1812

() 内は口数

2. 支部別会員数

支部	名誉会員	正会員		学生会員		賛助会員		合計
		一般	シニア・特別	有料	無料	A種	B種	
北海道		45	1		1			47
東北	1	43	2	1	13			60
中部		129	9	2	28	1	1	170
関西	2	194	12	1	22	4		235
中国・四国		69	3		3	1		76
九州		64	4	1	20			89
本部	10	884	40	2	150	31	18	1135
2020.2.29現在	13	1428	71	7	237	37 (47)	19 (19)	1812

貸借対照表

令和2年2月29日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	33,372,126	36,823,203	△ 3,451,077
未収会費	1,549,400	1,250,400	299,000
未収金	863,984	750,469	113,515
前払金前	261,360	256,607	4,753
払費用仮	82,601	46,500	36,101
払金	500,000	1,000,000	△ 500,000
流動資産合計	36,629,471	40,127,179	△ 3,497,708
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,001,085	400,605	600,480
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	4,800,000	7,000,000	△ 2,200,000
〇A化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
〇R事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	8,000,000	9,000,000	△ 1,000,000
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
若手〇R研究者育成基金	9,100,210	9,100,210	0
助成事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
リース資産	729,567	939,468	△ 209,901
特定資産合計	76,510,862	79,320,283	△ 2,809,421
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	77,461,262	80,270,683	△ 2,809,421
資産合計	114,090,733	120,397,862	△ 6,307,129
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金未	40,684	132,359	△ 91,675
払費用前	497,351	177,494	319,857
受金前受	2,706,712	1,782,510	924,202
会費預り	19,116,940	19,497,000	△ 380,060
金	231,001	170,817	60,184
未払消費税等	297,800	315,800	△ 18,000
流動負債合計	22,890,488	22,075,980	814,508
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,001,085	400,605	600,480
リース債務	1,233,576	1,623,672	△ 390,096
固定負債合計	2,234,661	2,024,277	210,384
負債合計	25,125,149	24,100,257	1,024,892
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	83,965,584	91,297,605	△ 7,332,021
(うち特定資産への充当額)	(70,509,777)	(73,919,678)	(△ 3,409,901)
正味財産合計	88,965,584	96,297,605	△ 7,332,021
負債及び正味財産合計	114,090,733	120,397,862	△ 6,307,129

正味財産増減計算書

平成31年 3月 1日から令和 2年 2月29日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,974	10,467	△ 4,493
受取利息	5,974	10,467	△ 4,493
受取入会金	107,100	108,900	△ 1,800
受取正会員入会金収入	40,500	69,300	△ 28,800
受取学生会員入会金収入	66,600	39,600	27,000
受取会費	28,071,200	28,232,200	△ 161,000
正会員受取会費収入	22,557,600	22,687,200	△ 129,600
学生会員受取会費収入	40,600	25,000	15,600
賛助会員受取会費収入	5,473,000	5,520,000	△ 47,000
事業収益	15,461,169	18,424,012	△ 2,962,843
受取販売収益	2,343,799	2,083,437	260,362
受取研究発表参加収入	3,490,000	3,637,000	△ 147,000
受取参加料	3,651,000	6,065,300	△ 2,414,300
受取広告料	4,784,800	4,881,700	△ 96,900
受取受託料	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
受取掲載料	0	76,000	△ 76,000
受取著作権料	191,570	175,575	15,995
受取会誌料	0	5,000	△ 5,000
受取補助金等	250,000	205,000	45,000
雑収益	70,134	71,648	△ 1,514
受取利息	233	256	△ 23
雑収益	69,901	71,392	△ 1,491
経常収益計	43,965,577	47,052,227	△ 3,086,650
(2) 経常費用			
事業費	46,431,010	45,336,363	1,094,647
給与手当	7,275,766	6,373,713	902,053
賞与	2,054,724	2,109,541	△ 54,817
臨時雇賃金	928,830	2,087,971	△ 1,159,141
法定福利費	706,177	394,254	311,923
福利厚生費	26,142	61,886	△ 35,744
旅費交通費	2,703,639	1,562,264	1,141,375
通信運搬費	3,510,782	2,951,798	558,984
退職給付費用	540,432	50,045	490,387
消耗品費	1,937,455	639,320	1,298,135
会議費	4,962,425	7,237,028	△ 2,274,603
印刷製本費	8,310,513	10,464,886	△ 2,154,373
広告宣伝費	0	453,600	△ 453,600
貸借料	3,193,517	2,940,254	253,263
保険料	5,899	3,420	2,479
租税公課	297,800	316,400	△ 18,600
支払補助金	0	10,000	△ 10,000
諸謝金	6,668,365	4,743,741	1,924,624
委託費	1,558,898	2,157,909	△ 599,011
支払手数料	1,344,278	417,576	926,702
減価償却費	188,912	204,920	△ 16,008
貸倒損失	190,080	63,360	126,720
雑費	26,376	92,477	△ 66,101
管理費	4,866,588	4,001,914	864,674
給与手当	808,415	708,187	100,228
賞与	228,302	234,393	△ 6,091
臨時雇賃金	16,770	130,790	△ 114,020
法定福利費	78,461	43,803	34,658
福利厚生費	2,903	6,876	△ 3,973
旅費交通費	868,503	475,181	393,322
通信運搬費	60,735	42,463	18,272
退職給付費用	60,048	5,560	54,488
消耗品費	22,770	31,638	△ 8,868
会議費	477,303	388,604	88,699
印刷製本費	90,116	93,305	△ 3,189
広告宣伝費	0	3,240	△ 3,240
貸借料	345,713	321,528	24,185
保険料	656	390	276
租税公課	45,500	4,765	40,735
水道光熱費	237,272	212,600	24,672
委託費	75,093	122,088	△ 46,995
支払手数料	52,167	32,678	19,489
支払報酬料	597,900	547,560	50,340
諸会費	428,760	443,777	△ 15,017
減価償却費	20,989	22,768	△ 1,779
貸倒損失	285,120	95,040	190,080
雑費	63,092	34,690	28,402
経常費用計	51,297,598	49,338,277	1,959,321
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,332,021	△ 2,286,050	△ 5,045,971
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,332,021	△ 2,286,050	△ 5,045,971
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益経	0	0	0
常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	69,300	△ 69,300
リース資産除却損	0	69,300	△ 69,300
経常外費用計	0	△ 69,300	69,300
当期経常外増減額	△ 7,332,021	△ 2,355,350	△ 4,976,671
当期一般正味財産増減額	91,297,605	93,652,955	△ 2,355,350
一般正味財産期首残高	83,965,584	91,297,605	△ 7,332,021
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	88,965,584	96,297,605	△ 7,332,021
III 正味財産期末残高	0	0	0

2020-2021年度役員候補者の件

会務	定数	改選数	非改選役員	新役員
会長	1	1		田口 東 (中央大学)
副会長	3	1	河東晴子 (三菱電機(株)) 松井知己 (東京工業大学)	田辺隆人 ((株)NTTデータ数理システム)
庶務理事	2	1	渡部大輔 (東京海洋大学)	原田耕平 ((株)NTTデータ数理システム)
国際理事	1	0	矢野浩仁 ((株)日立製作所)	
研究普及理事	2	1	三好直人 (東京工業大学)	永井秀稔 (日鉄ソリューションズ(株))
編集理事	2	1	繁野麻衣子 (筑波大学)	土谷 隆 (政策研究大学院大学)
会計理事	1	1		諸星穂積 (政策研究大学院大学)
渉外理事	1	1		西松 研 (NTTネットワーク基盤研究所)
広報理事	1	1		鷺森聡子 (森口聡子) (東京都立大学)
支部理事	1	0	森田 浩 (大阪大学)	
無任所理事	1	0		(欠員)
大会理事	2	1	加地太一 (小樽商科大学)	古川哲也 (九州大学)
監 事	2	1	渡辺隆裕 (首都大学東京)	五十嵐順子 (細田順子) ((株)日立製作所)